

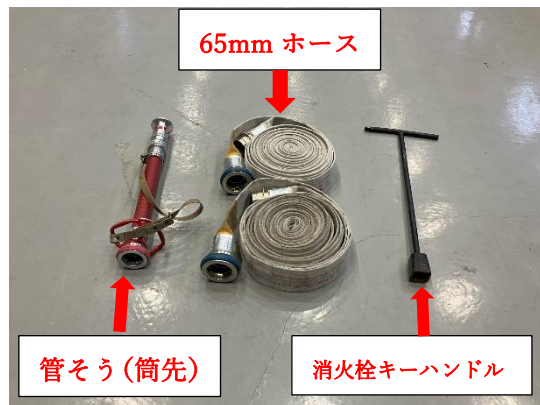
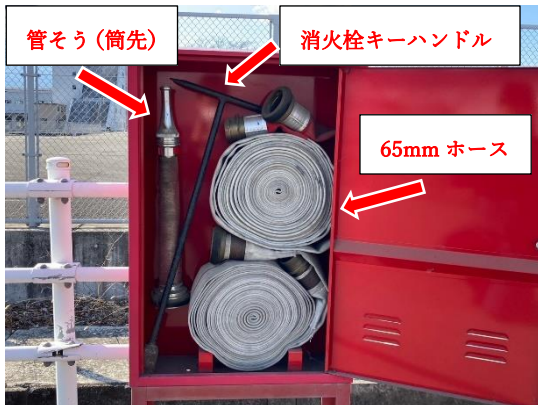
地下式消火栓取扱い要領

大規模災害において多発する火災による被害を軽減するため、消防隊が到着するまでの自主防災組織による初期消火での延焼拡大の防止を図る必要があります。

有事の際、自主防災組織は各地域の消火栓格納箱内に収納してある資機材を活用し初期消火を行います。

初期消火を安全に行うため、次の要領を参考としてご活用下さい。

1 地下式消火栓を使用するための資器材



※消火栓格納箱内には、「管そう」、「65mm ホース」、「消火栓キーハンドル」等が収納されています。(市町村によって違いあり)

2 資機材の名称



各種消火栓キーハンドル



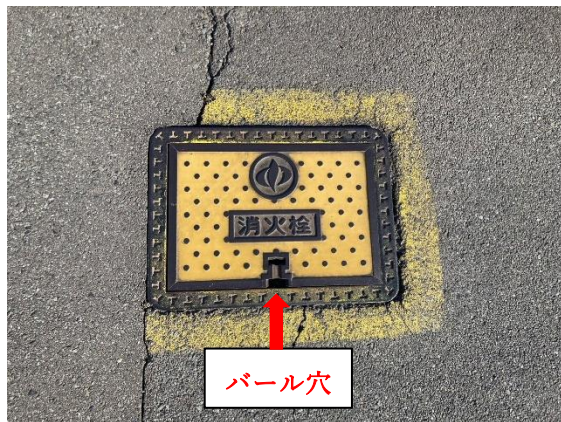
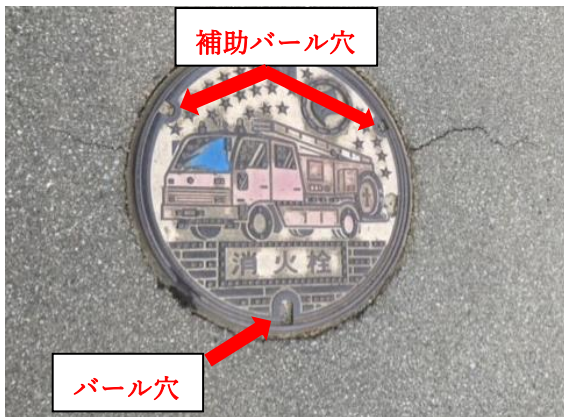
3 消火栓とホースの結合

(1) 地下式消火栓の蓋を開ける。(消火栓キーハンドルを使用)

※蓋の種類は市町村や設置年等によって違いあり

※専用のキーハンドルを使用するタイプもあり

※蓋を開け方は、少し持ち上げて90度スライドさせる方法や完全に持ち上げる方法などがあるため、事前に確認しておく。



(2) 蓋を開けると、中に元金具（オス）と突起部があり、突起部に消火栓キーハンドルを差し込み、反時計回りにひねると水が出る。

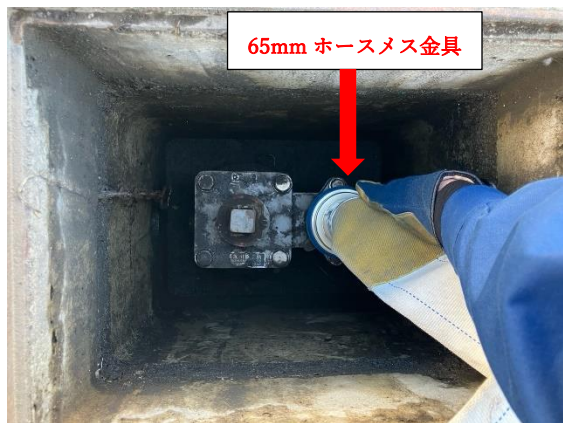
ホースのメス金具を元金具（オス）に接続する。

※元金具（オス）にキャップがついている場合があるため、外してから使用する。

※ホースを接続する前に1度水が出るか確認するとともに、水の濁りがないか確認する。

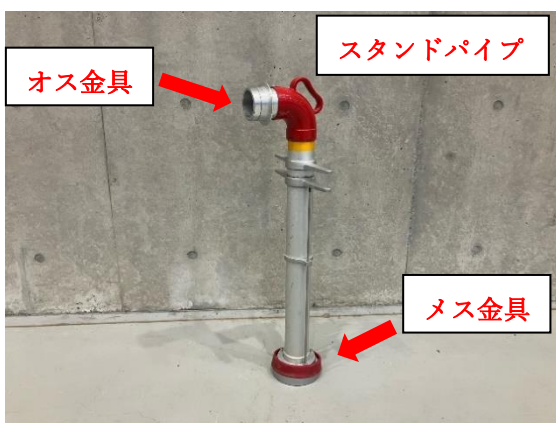
※ホース接続後にしっかり接続されているか、軽く引っ張る。

※ホース接続後、地面と接する部分に毛布や枕木を当てると良い。



4 スタンドパイプを使用する場合

- (1) スタンドパイプを使用する場合は消火栓の口金にスタンドパイプのメス金具を差し込み接続する。
- (2) スタンドパイプのオス金具にホースのメス金具を接続する。
※消火栓の元金具が地上から深い位置にある場合などに使用する。
※地上面からホース接続部の高さが出るため、地盤面とホースが接することが少ない。



5 操作時の注意点

- (1) 地下式消火栓を操作する際は、手袋、ヘルメット、安全靴、編み上げ靴等、安全に配慮した服装で操作すること。
- (2) 地下式消火栓を操作する際は、つまずき、転倒、落下防止のためカラーコーン等を置いて安全に配慮すること。
- (3) 地下式消火栓の蓋を閉める時には、地面から浮いている部分が無いように閉めること。浮いてしまう場合には溝に土砂等が溜まっていることもあるため、取り除くことで閉まる。